



Mannett der Fagel

シリーズコンサート

Wolfgang Amadeus
Mozart
(1756~1791)



小倉貴久子の

モーツァルトの クラヴィーアのある部屋

「モーツァルトのクラヴィーアのある部屋」には毎回、モーツァルトと関わりのある作曲家等をひとりずつゲストとして迎えます。モーツァルトとゲスト作曲家のクラヴィーアのソロ作品、またピリオド楽器奏者と共にお届けする室内楽、連弾、歌曲などなど、お話を交えながらのコンサートです。18世紀にタイムスリップしたかのようなひととき、「モーツァルトのクラヴィーアのある部屋」にみなさまをご案内いたします！

《第27回》2017年5月10日(水)午後6時45分開演(開場6:15)

L.v.ベートーヴェン Ludwig van Beethoven [1770-1827]

小倉貴久子(クラヴィーア)・三宮正満(オーボエ)・満江菜穂子(クラリネット)
塚田 聡(ホルン)・岡本正之(ファゴット)

ベートーヴェン: 五重奏曲 変ホ長調 Op.16 / ソナタ 二短調 Op.31-2《テンペスト》
モーツァルト: 小品ト短調 K.15p / オーボエ・コンチェルトより / クラリネット・コンチェルトより / ホルン・コンチェルトより / ファゴット・コンチェルトより / 五重奏曲 変ホ長調 K.452

第27回、第29回の使用楽器: Klavier made by Chris Maene after A.Walter [1795]

《第28回》2017年7月7日(金)午後7時開演(開場6:30)

B.クリストフォリ Bartolomeo Cristofori [1655-1732]

小倉貴久子(クラヴィーア)

ジュスティニーニ: ソナタト短調 Op.1-1 D.スカラルッティ: ソナタト短調 K.8 / ソナタ 二短調 K.9
ガルツピ: ソナタ 八長調 マルチェッロ: ソナタ 第4番ト短調
ヘンデル: フーガハ短調 / 組曲第1集より 第5番 ホ長調
モーツァルト: 小品ハ長調 K.9a、変ロ長調 K.15q / 8つの変奏曲ト長調 K.24 /
ヴェローナのアレグロト長調 K.72a / メヌエット 二長調 K.94 / 組曲ハ長調 K.399 / ジーゴト長調 K.574

使用楽器: Klavier made by Akira Kubota after B.Cristofori [1726]

《第29回》2017年9月28日(木)午後7時開演(開場6:30)

J.B.アウエルンハンマー Josepha Barbara von Auernhammer [1758-1820]

小倉貴久子(クラヴィーア)・山名敏之(クラヴィーア)

アウエルンハンマー: 〈魔笛〉の aria「おいらは鳥刺し」の主題と6つの変奏曲ト長調
モーツァルト: 小品ト短調 K.15r / 「ああお母様聞いてちょうだい」による12の変奏曲ハ長調 K.265 /
四手のためのソナタ 変ロ長調 K.358 / ヴァイオリン・ソナタ へ長調 K.376 (二台クラヴィーア版) /
二台のクラヴィーアのための作品 フーガハ短調 K.426、ラルゲットとアレグロ 変ホ長調 K.deest、
ソナタ 二長調 K.448 使用楽器: Klavier made by Itaru Ohtagaki after J.L.Dulcken [1795]

近江楽堂

東京オペラシティビル3F

全席自由: 1回券 4,000円 (学生2,000円)

3回セット券 10,000円

後援: 日本モーツァルト協会 / 東京藝術大学音楽学部同声会
日本モーツァルト愛好会 / (一社)全日本ピアノ指導者協会
協力: KiKla

■チケット発売・お問い合わせ■

メヌエット・デア・フリューゲル(主催) ☎048-688-4921
mdf-ks@h7.dion.ne.jp
http://www.h2.dion.ne.jp/~kikukohp/

近江楽堂 松木アートオフィス ☎03-5353-6937

■チケット発売■

東京オペラシティチケットセンター ☎03-5353-9999
東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650
http://www.t-bunka.jp/ticket/
イープラス e+ http://eplus.jp/

《第27回》L.v.ベートーヴェン

28歳のモーツァルトが「私が今までの生涯に書いた中で最もすぐれた作品」と自賛したオーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットとクラヴィアのための五重奏曲は、室内楽の誉れ高い傑作として輝きを放っています。興味をそえられるのは、同じ年頃のベートーヴェンが、モーツァルトの作品を範にして同じ編成、同じ調性での作品を残していることです。シンフォニー第1番を世に出す前夜のベートーヴェンがモーツァルトへの敬意を込めながら書いた、管楽器の扱いの卓抜さに秀でた五重奏曲。クラヴィアソロ曲はベートーヴェンが「新しい道」と名付けたソナタ集から《テンペスト》を。モーツァルトは、管楽器の特徴を生かした協奏曲を残しています。各楽器の協奏曲からひとつの楽章を、楽器のお話と共に楽しみいただきます。

モーツァルトからベートーヴェンへと受け継がれた天才性が、ピリオド楽器を操る管の名手たちと共につまびらかになることでしょう。

《第28回》B.クリストーフオリ

ピアノは1700年頃フィレンツェで誕生しました。発明者はメディチ家の楽器製作家バルトロメオ・クリストーフオリ。ハンマーで弦を打つ新楽器はGlavicembalo col piano e forte (弱音と強音をもつチェンバロ)と名付けられ、長い名前が短縮されて「フォルテピアノ」「ピアノ」という呼称が生まれました。タッチによって強弱の変化や多彩な表現が可能となったクリストーフオリの発明は、現代のピアノへと継承されている基本的構造が多数あります。18世紀後半、チェンバロは衰退し人々はフォルテピアノに熱狂。幼少期のモーツァルトはチェンバロを演奏していましたが、フォルテピアノが市民権を得ると時を同じくしてフォルテピアノのために作曲するようになります。ピアノのための史上初の曲集ジュスティニーや、クリストーフオリのピアノと関わりのあった作曲家の作品。そしてモーツァルトのイタリア旅行、ヘンデルから受けたバロック体験などから生まれた作品を、クリストーフオリで辿ります。

《第29回》J.B.アウエルンハンマー

「この若いお嬢さんはひどく醜い人です」。モーツァルトは父親にアウエルンハンマー嬢との浮ついた話などないと、彼女に対し気の毒なほどひどい言葉を手紙に書き連ねています。しかしこれにはモーツァルト特有のパラドックスが含まれているようです。「アウエルンハンマー嬢と結婚？」という噂も誠しやかに流れていたとか。いずれにしても、アウエルンハンマー嬢への特別な親愛の感情は、彼女と演奏するために作曲された諸作品を聴けば明らかです。また、姉・ナンネルとクラヴィアでのデュオに慣れていたモーツァルトにとって、彼女の存在はかけがえのないものであったに違いありません。彼女にまつわる二台のクラヴィアのための作品と連弾曲。アウエルンハンマー・ソナタ集として知られるヴァイオリン・ソナタを、当時のエピソードに基づき二台のクラヴィアに編曲したものを。アウエルンハンマー作曲のモーツァルトの主題による変奏曲などをお届けします。



小倉貴久子 クラヴィア
Kikuko Ogura

東京藝術大学を経て同大学院修了。阿姆斯特ダム音楽院を特別栄誉賞付き首席卒業。日本モーツァルト音楽コンクールピアノ部門第1位。ブルージュ国際音楽コンクールのアンサンブル部門とフォルテピアノ部門で第1位と聴衆賞を受賞。様々なコンサートシリーズや音楽祭、TV、ラジオへの出演も多い。40点以上リリースされたCDの多くが、特選盤や推薦盤に選ばれる。文化庁芸術祭(大賞)受賞。東京藝術大学古楽科講師。

れる。文化庁芸術祭(大賞)受賞。東京藝術大学古楽科講師。



山名敏之 クラヴィア
Toshiyuki Yamana (第29回出演)

東京藝術大学、阿姆斯特ダム音楽院卒業。安川加寿子、W.ブロンズ、S.ホーランドの各氏に師事。NHK「びあのピアノ」にフォルテピアノで出演。当時の3種類の鍵盤楽器でのハイドン全クラヴィア独奏曲の演奏会を催す。CD「ハイドンと18世紀を彩った鍵盤楽器たち」は、レコード芸術、朝日新聞、音楽の友等で高い評価を得る。和歌山大学教育学部教授。



三宮正満 クラシカル・オーボエ
Masamitsu San'nomiya (第27回出演)

武蔵野音楽大学卒業。田村次男氏と共に歴史的オーボエの製作に取り組んでいる。ソロアルバム「19世紀パリのオーボエ作品集」「ヴィダーケア デュオソナタ集」をリリース。現在「バッハ・コレギウム・ジャパン」及び「クラシカル・プレイヤーズ東京」首席オーボエ奏者。「アンサンブル・ヴィンセント」主宰。東京藝術大学古楽科講師。



満江菜穂子 クラシカル・クラリネット
Nahoko Mitsue (第27回出演)

デン・ハーグ王立音楽院修了。クラシカル・クラリネットをE.ホーブリッチ氏に師事。留学中「18世紀オーケストラ」「フライブルク・バロック・オーケストラ」などの演奏会に出演。モーツァルトの協奏曲を「クラシカル・プレイヤーズ東京」と共演し「音楽の友」などで高い評価を得る。現在、昭和音楽大学専任講師。



塚田 聡 ナチュラル・ホルン
Satoshi Tsukada (第27回出演)

東京藝術大学卒業。卒業と同時に「東京フィルハーモニー交響楽団」に入団、現在に至る。阿姆斯特ダム音楽院に留学、ナチュラル・ホルンをC.モーリー氏に師事。モーツァルト時代のディヴェルティメントを主なレパートリーとする「ラ・バンド サンバ」主宰。他ナチュラル・ホルン奏者として各合奏団に参加・活躍している。



岡本正之 クラシカル・ファゴット
Masayuki Okamoto (第27回出演)

東京藝術大学卒業。日本管打楽器コンクール第1位。ハノーヴァーとシュトゥットガルトにて研鑽を積む。現在「東京都交響楽団」ファゴット首席奏者としての活動を中心に、様々なアンサンブルでソリスト等として活躍。古典・バロックファゴットの分野での活動も目覚ましい。桐朋学園大学特任教授。東京藝術大学音楽学部非常勤講師。

近江楽堂

(京王新線「初台」駅下車、オペラシティ方面出口3分)
〒163-1407 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ3階
☎ 03-5353-6937 (近江楽堂・松木アートオフィス)

予告

小倉貴久子の《モーツァルトのクラヴィアのあゝる部屋》

第30回記念公演

～クラヴィア・コンチェルト～

J.Ch.バッハ

2017年11月3日(金・祝) 13:30開演

第一生命ホール(中央区勝どき)

全席指定:4,000円(一般)、2,000円(学生)

●チケット先行発売:2017年5月10日予定●